

東京食事サービス連絡会

第22回食事サービスを考えるつどい

食事サービスは、各地の住民の自発的な活動によって創設・発展してきました。今日では、住み慣れた地域での在宅生活を支える活動として社会に位置づき、会食サービス、配食サービス、ミニデイ、男性料理教室など多様なかたちで地域福祉の推進に貢献しています。

現在、介護保険制度の改正にともない介護予防が着目されていますが、そのなかで老化の予防に効果のある食事サービスに期待がもたれています。自治体のなかには、食事サービスを軸とした介護予防・見守り・安否確認に着目し、住民による食事サービス活動との協働やパートナーシップに関する模索が始まっているところがあります。

今年で22回目となる食事サービスを考えるつどいは、活動団体の現状を整理し、自治体やコミュニティとの関係をふまつつ、今後の食事サービスのあり方について考える場にしたいと思えます。

- 日 時 **2006年10月20日(金) 9:50 ~ 15:30**
 会 場 飯田橋セントラルプラザ12階 (受付開始 9:30)
 主 催 東京食事サービス連絡会
 共 催 東京ボランティア・市民活動センター, 全国老人給食協力会
 後 援 町田市(予)
 参加費 1人2,000円(資料代含む) *当日会場でお支払い下さい

申し込み方法

参加申込書にご記入の上、下記の宛先まで郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

【申し込み・問合せ先】

東京ボランティア・市民活動センター
 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
 電話 03-3235-1171
 FAX 03-3235-0050
 ホームページ <http://www.tvac.or.jp/>

【締め切り】

10月16日(月) 定員150名

交通

- ・JR：中央線各駅停車「飯田橋」西口下車、徒歩1分。飯田橋駅<西口>を出たら右に曲がり、右側前方に見えるビルがセントラルプラザです。
- ・地下鉄：有楽町線・東西線・南北線・大江戸線「飯田橋」下車、「B2b」出口

会場案内図



第22回食事サービスを考えるつどい参加申込書

* 2名以上お申込みの場合は、参加申込書をコピーしてください。

氏名	
団体名	
住所	〒
電話・FAX	
分科会(を付けてください)	第1分科会 (A, B, C, D, 未定) 第2分科会

事前アンケートにご協力下さい

- 貴団体の活動形態は？
 ア．配食サービス
 イ．会食サービス
 ウ．ミニデイサービス
 エ．その他(具体的に：)
- 1日の提供食数は？
 ア．20食以下
 イ．21-50食
 ウ．51-80食
 エ．81-100食
 オ．100食以上

第22回食事サービスを考えるつどい開催要項

日 時：平成18年10月20日（金）10時～15時30分（受付開始 9時30分）

会 場：飯田橋セントラルプラザ12階

プログラム：

開会挨拶(9:50～10:00)

基調講演(10:00～10:40)

「住民が創り育てた地域福祉活動 杉並・老後を良くする会の34年」

講師：河 周子氏（杉並・老後を良くする会運営委員）

アドバイザー：小島セツ子氏（東京都社会福祉協議会特別研究員）

第 部 パネルディスカッション「福祉コミュニティと食事サービス」(10:45～12:15)

食事サービスは、高齢者の低栄養を予防するとともに、適度の運動と組み合わせることで介護予防に大きな効果を発揮します。また、地域のさまざまな活動と連携することによって、住民参加による福祉コミュニティへの発展も期待されます。第 部では、介護保険の改正後における新たな食事サービスのあり方を展望しつつ、大田区や町田市ほかの事例にもとづき、自治体と住民活動との連携・パートナーシップのあり方について考えます。

キーワード：介護予防、地域福祉、コミュニティ、パートナーシップ

パネリスト：内藤佳津雄氏（日本大学文理学部助教授）
村山美智恵氏（特定非営利活動法人こぶしの会、
大田区食事サービス連絡会）

原島 博 氏（町田市健康福祉部高齢者福祉課課長）

コメンテーター：清水 洋行氏（東京学芸大学社会学分野助教授）

コーディネーター：安藤 雄太氏（東京ボランティア・市民活動センター副所長）

第 部 分科会：共通テーマ「食事サービスの意義を再確認しよう」(13:15～15:00)

第1分科会 グループに分かれて情報や意見の交換をしましょう

A 自治体とのパートナーシップ：区市町村による支援、区市町村への政策提言など

コーディネーター：菅原信子氏（明るい老後を考える会：町田市）、阿部温子氏（老人給食協力会ふきのとう、世田谷区）他

B コミュニティ：地域の新旧さまざまな活動とネットワークを広げよう

コーディネーター：野村知子氏（桜美林大学経営政策学部教授）、田島京子氏（食事サービス加多厨、八王子市）

C サステナビリティ：活動の継続にむけて。財源確保、組織運営、コーディネートなど

コーディネーター：石田惇子氏（支え合う会みのり、稲城市）、吉松隆氏（サポートハウス年輪、西東京市）、青木節子氏（長寿社会を考える会、八王子市）

D サービス：配食サービスをめぐって

コーディネーター：村山美智子氏（前掲）、関谷すみ子氏（(社福)豊芯会 ハートランドひだまり、豊島区）、野口貴美子氏（支え合う会みのり、稲城市）

サービス：会食サービスをめぐって：食事とプログラム

コーディネーター：渡辺大亮氏（すずらん、国立市）、笹原典子（杉並・老後を良くする会、杉並区）

第2分科会 学習会「まちづくりとしての食事サービス活動 歴史を学び明日の展開を考える」(仮)

講師：小島セツ子氏（東京都社会福祉協議会特別研究員）

進行：柴田 健次氏（東京ボランティア・市民活動センター）